

第5次朝日地区地域福祉活動計画

2019年度～2023年度

朝日地区社会福祉協議会

(2019年3月策定)

1、朝日地区の概要

- ① 朝日地区は、大橋川と天神川の間に位置する伊勢宮町、御手船場町、朝日町、東朝日町、大正町と国道9号線沿いの新雑賀町、津田町、西津田町の一部によって形成されている。

JR松江駅を中心に山陰線が東西に走り、国道9号線がそれに並行している。また、南北には県道上乃木菅田線（通称：くにびき道路）が通り交通の要となっている。

古くは、天神川南岸西部は雑賀地区に続くところで、割と早くから住宅地として開けた場所であるが、それより東はほとんど沼地や田畑であった。

明治41年に松江停車場が竣工して鉄道が開通したことで、商業地や住宅地として急変し、昭和初期には御手船場付近は造船所や鉄工所を中心として栄えた。

現在は、百貨店や大型店舗、金融機関等が集まっており、松江の都市機能の中核として、経済と市民文化を先進するまちとなっている。

- ② 人口4,528人、世帯数2,282世帯、高齢化率25.07%、65歳以上のみの世帯数653世帯となっている。（平成30年3月末現在）

2、朝日地区の現状と今後の課題

- ①朝日公民館は第三中学校との複合施設としての環境を生かし、学社連携・融合のあるべき姿を探り、さらに、幼稚園、小学校を中心とする活動を推進するため、白潟公民館との連携強化を図っている。
- ②小・中学校の特別支援教育の支援体制が充実している。
- ③地区の中では、なごやか寄り合い・ミニデイ事業を中心としたまちづくりに成果が出ている地区が多くなりつつある。一方で集会所がなく実現していない地区もある。
- ④マンション等が多く、入居者は比較的若年層が多いためか、高齢化率は他地区に比して低い。一方、居住年数の長い世帯は高齢者が多いこともあってか活力に乏しく、マンション等世帯の町内会・自治会への加入率が低いこととあいまって、地域全体の盛り上がりには欠ける面がある。
- ⑤市街地に位置しているので、利便性がよく生活しやすいことから、地域に頼らなくてもよいという考え方の影響もあり、相互の協力・団結力の弱さが見受けられる。

3、朝日地区地域福祉活動計画の概要

- ①「みんなで支え合い安心して住めるまちづくり」を推進するための活動を展開
- ②住民福祉ニーズを把握し、必要な支援に結び付ける活動の推進
- ③住民参加による地域福祉を高めるための事業の推進
- ④小地域での交流の場や地域づくりの推進（なごやか寄り合い・ミニデイ9ヶ所）
- ⑤地域の支え合い、孤独を防ぐため「喫茶あさひ」の開設。月1回第1水曜日 気軽に公民館へでかけてもらう。

4、地域福祉活動計画の進捗管理

- ①地区社協理事を中心に年2回程度進捗管理を行う。
（これを第2層協議体として位置付ける）

第5次朝日地区地域福祉活動計画

みんなで支え合い安心して住めるまちづくり

重点課題	重点活動・強化項目	具体的活動	5か年計画	活動を推進する組織・団体	財源			
1.地域の支え合いのしくみづくりの推進	①防災を軸とした町内会・自治会(以下町内会という)活動の推進	全町内会で防災計画の策定	防災モデル地区の検討	各町内会、防火隊、福祉部、地区社協、福祉推進員	町内会、地区社協、公民館			
		防災に対する啓発活動の推進	公民館だより、社福協だよりの活用					
		町内会への加入促進	マンション対策を重点として未設置地区の設置の促進					
		要配慮者支援体制の充実	各町内会の防火組織の育成 松江所要配慮者支援推進事業の取り組みの推進					
	②福祉を軸とした町内会の推進	活動基盤の整備	小地域住民ふれあい交流会の促進 集会所の支援					
		町内会福祉部の設置と育成	未設置地区の支援					
		住民学習会の開催	救急法の習得、健康講座を推進					
	③ふれあいを軸とした地域活動の推進	朝日まつり、朝日地区町民体育祭、文化祭事業の実施	朝日まつり、朝日地区町民体育祭、文化祭事業の参加啓発					
		「喫茶あさひ」の開設	「喫茶あさひ」の周知、充実					
		研修事業の実施	他地区の事業視察研修等					
	2.安心して暮らせるための見守りネットワークの推進	①あさひ安心ネット推進事業	地域孫見守り活動			子どもたちの下校時、家の前で見守ることへの呼びかけ	各町内会、防火隊、福祉部、地区社協、民児協、福祉推進員	交通安全対策協議会、公民館地区社協、青少年健全育成協議会
			青色防犯パトロールの充実			パトロール体制の強化		
危険箇所の点検と対応			関係機関との情報共有					
環境整備活動			犬・猫・鳥等被害対策の検討					
②福祉の心を育てる教育活動への助成等		保育所、幼稚園、中央小、三中への福祉教育費の助成	保育所、幼稚園、中央小、三中の朝日まつり、文化祭への参加					
		各種交流事業の実施	中央幼稚園のふれあい茶話会への参加・餅つき・花餅づくり					
			中央小児童による敬老便りの作成・ジャガジャガ交流・フリースペース等 三中生徒会による暑中見舞い、年賀状の作成等					
③障がい者(児)の地域交流事業の推進		あったかスクラム事業の推進	開催事業への支援					
		学校・児童クラブとの連携	あったかスクラム活動の周知・啓発					

重点課題	重点活動・強化項目	具体的活動	5か年計画	活動を推進する組織・団体	財源
	④高齢者見守りネットワークの充実	なごやか寄り合い事業の拡充	各町内会での予算化、社協で支援	各町内会、防火隊、福祉部、地区社協、民児協、福祉推進員	町内会、地区社協
		見守り・声がけ訪問活動の充実			
		敬老事業の開催	敬老事業の助成		
		シニアクラブ事業の活性化	事業の周知・啓発		
		マンションの高齢化に対する対策	各町内会から働きかけを検討		
	⑤介護に関すること	介護関係に関する講習会等の充実			
⑥地域包括支援センターとの連携	説明会の開催や定期的な情報交換	なごやか寄り合い、ミニデイに出向き情報提供をしてもらう			
3. 健康づくりの増進	①学習・話し合いの場づくり	ヘルシーブーンとアップ講座	6～7講座の開設(健康に関する講座等)	各町内会、防火隊、福祉部、地区社協、保健協力員、健康まつえ21推進隊	公民館、地区社協
	②健康活動の場づくり	喫茶あさひ	健康活動の場づくりとしての内容の検討と実施		
		健康まつえ21推進隊の継続推進	検診の啓発 健康課題の共有とそれに応じた健康づくり活動の実施 同好会(クラフトゴルフ、マージャン教室、歩こつ会)の活動支援 保健協力員との連携・協力		
4. 進捗管理	①第5次地域福祉活動計画の進捗管理	第2層協議体において進捗管理	地区社協理事を中心に年2回程度5か年計画の進捗管理を行う	各町内会、公民館、地区社協	

6、 第5次朝日地区地域福祉計画重点活動項目

区分	活動名	みんなの声（実態調査・振り返りから）	目標	具体的な取り組み内容	実施・協力者（団体）	財源
1-③ 新規	夕べのつどい	何があなくても集まって顔を合わせることが大事。新たな話相手や仲間づくりの交流の場として居酒屋サロンがあるとよい（アンケート）。	集まれる場を増やし、地域みんなの顔が見える関係をつくる	地元スナックの協力を得て18：00～20：00語り場を開催	地区社協、地元スナック	参加費
2-① 充実	地域孫見守り事業	路地に入ると人通りが少ない中、下校時歩かなくてはいけなくて心配	地域全体で見守りができるような関係・仕掛けづくり	町内会を通して声かけ	地区社協・町内会自治会・地域の方々	地区社協
2-① 充実	地域版ハザード（潜在的危険箇所）マップアラカルト（災害・事故・犯罪）	空屋の塀など、地震のとき崩れの危険がある場所が見受けらる。市内の中心部といっても路地など事件の可能性のある場所も見受けられる	小学校や地域で作っているものを集約し危険箇所について共有を図るとともに対策のきっかけにする。	今作成されているものの集約と補足、共有。	地区社協、町内会、民児協、子ども会、学校	地区社協
2-② 充実	夏休み キッズスペース	フリースペースは夏休み時間を持って余す子どもも多いため助かっている。しかしフリーといっても遊ぶものがない。	見守りを通して子どもと高齢者の異世代間交流を図るとともに子どもの居場所づくりをはかる	フリースペースの充実	地区社協、地域の方、公民館	地区社協、公民館
2-① 新規	街灯探索会	松江市の中心部に位置する朝日地区だが、場所によっては街灯がすくなく防犯面でも心配。	まずは街灯の少ない場所を調べ、今後への足掛かりにする	街灯探索	地区社協	地区社協
2-② 新規	smileママ＆女性学級コラボ事業 →朝日地区～異世代コミュニケーション～	世代間交流がこの二つの世代の中できれがちに思える	まずは現存団体でコラボ交流を図り、切れることのない世代間のつながりのきっかけにし、全体に広げていく	公民館内で様々なコミュニケーション企画の実施	Smileママ、女性学級地区社協	公民館地区社協

8、第5次朝日地区地域福祉活動計画策定行程(第2層協議体)

月 日	会議	内容	備考
5月17日(木)	事務局会	第5次朝日地区地域福祉活動計画第1回策定委員会に向けて打ち合わせ	
5月21日(月)	第1回策定委員会	第4次地域福祉活動計画の振り返りと未達事項の洗い出し及び今後の進め方の検討	
6月12日(火)	事務局会	第2回策定委員会に向けて地域の現状共有方法を検討	
6月26日(火)	第2回策定委員会	地域の現状共有(各団体活動の状況共有等)及び実態調査方法の検討	アンケート調査実施を決定
7月9日(月)	事務局会	アンケート素案づくり	
7月18日(水)	第3回策定委員会	アンケート項目及びアンケート調査範囲の検討・決定	8月1日～9月28日の期間に収集(223枚)
11月9日(金)	第4回策定委員会	アンケート収集結果と考察及び第5次計画原案への反映検討	会議後会長を中心に原案作成
12月19日(水)	事務局会	第5次計画原案の作成①	
1月9日(水)	事務局会	第5次計画原案の作成②	
1月25日(金)	第5回策定委員会	計画原案の修正及び完成	